

# 第2次高松市創造都市ビジョンにおける 平成30年度の主な実績について (概要)



# 主な成果について（1）

範囲	上昇率	成果指標	昨年度実績値	現況値
上昇 (上昇率 $\geq$ 101%)	245.0%	こども未来館来館者数	132,322人	約54,000人
	111.8%	創造都市推進局Facebookページ いいね！数	4,585人	約4,100人
	103.3%	市民満足度調査において、 高松市に愛着を「感じる」「やや感じる」と回答した割合	84.5%	81.8%
	101.0%	市民満足度調査において、 今の高松市が「住みよい」「まあまあ住みよい」と回答した割合	86.7%	85.8%
横ばい (99% $<$ 上昇率 $<$ 101%)	100.5%	栗林公園来園者数	713,438人	約710,000人
	99.9%	市民満足度調査において、これからも高松市に「ずっと住み続けたい」「住み続けてもよい」と回答した割合	85.7%	85.8%
下降 (上昇率 $\leq$ 99%)	97.6%	屋島山上入込客数	494,984人	約507,000人
	97.3%	市民満足度調査において、 高松市の市政に関心が「ある」「ややある」と回答した割合	64.8%	66.6%
	94.2	塩江温泉郷来場者数	65,944人	約70,000人
	84.9%	高松城跡(玉藻公園)入園者数	202,161人	約238,000人
	61.9%	女木島来場者数	91,563人	約148,000人
測定不可	—	サンポート高松トライアスロン観客数	荒天により大会中止	38,500人
	—	瀬戸内国際芸術祭来場者数 ※高松市内	実施なし	約231,000人
	—	瀬戸内国際芸術祭(外国人割合)※アンケート調査	実施なし	13.4%
	—	高松国際ピアノコンクール観客数	実施なし	7,180人

# 主な成果について（2）

## 【概要】

第2次高松市創造都市推進ビジョンでは、前頁のとおり成果指標を設定し、進行管理を行いながら現況値よりも向上を目指すとしている。

全15指標の内訳は、

上	昇	：4指標
横	ばい	：2指標
下	降	：5指標
測定不可		：4指標

## 【付記事項】

- 「こども未来館来館者数」の「現況値」は、こども未来館が開館した平成28年度の数値であり、「H28.11.23～H29.3.31」と期間が短いものである。平成29年度の数値は「121,930人」のため、前年度比較での「上昇値」は、「108.5%」となる。
- 「女木島来場者数」を始め、「観光資源力」の「現況値」は、瀬戸内国際芸術祭2016が開催された平成28年度の数値であり、平年よりも数値が高いものである。「女木島来場者数」の平成29年度の数値は「90,739人」のため、前年度比較での「上昇値」は、「100.9%」となる。

# ビジョン掲載事業について (1)

範囲	こどもプロジェクト (全13取組事業)	工芸プロジェクト (全9取組事業)	食プロジェクト (全7取組事業)	交流プロジェクト (全44取組事業)
上昇 (上昇率 $\geq$ 101%)	10	2	3	8
横ばい (99% $<$ 上昇率 $<$ 101%)	0	1	2	3
下降 (上昇率 $\leq$ 99%)	2	1	2	10
測定不可	1	5	0	23

※「実施実績」が2以上ある取組事業の振分について

●こどもプロジェクト

11.こども未来館学習体験事業→「上昇」

●工芸プロジェクト

4.漆芸研究所修了作品貸出事業→「横ばい」

8.伝統的ものづくり学校巡回教室→「上昇」

9.伝統的ものづくり親子体験教室→「上昇」

●食プロジェクト

5.市場特別開放事業→「上昇」

7.市場D E自由研究事業→「横ばい」

●交流プロジェクト

8.誘客促進事業→「上昇」

19.高松まちかど漫遊帖→「上昇」

20.まちなかパフォーマンス事業→「上昇」

24.ため池景観整備維持管理事業→「上昇」

28.アーティスト・イン・レジデンス事業→「下降」



# ビジョン掲載事業について (2)

## 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

### 地域密着型トップスポーツチームの活用

実施実績 【教室等開催回数】	上昇率	平成30年度における成果	令和元年度事業内容
平成25年度 15回 平成26年度 11回 平成27年度 10回 平成28年度 7回 平成29年度 65回 平成30年度 109回	167.7%	<p>これまでは地域イベントへの派遣が主ではあったが、選手が施設（市内幼稚園・保育園、小・中学校など）を訪問し、交流を深めることで、広く市民にチームをPRし、ファン層の拡大や青少年の健全育成等を図ることを目的として実施する「ホームタウン推進事業」を香川ファイブアローズに加え、カマタマーレ讃岐でも実施。</p> <p>また、香川オーリーブガイナースにおいてもチーム独自で幼稚園等を訪問するなど、選手と市民との交流事業が拡大し、青少年の健全育成及び認知度向上に努めた。</p>	<p>地域密着型トップスポーツチームを活用し、引き続き、幼稚園・学校等への訪問や高松市民応援デー等における試合への無料招待などを実施していく。また、今後においても、子どもたちの向上心や創造力の育成を図っていくため、県や地域密着型トップスポーツチームと連携を図りながら、様々な手段を通じ、一人でも多くの子どもたちに選手等と触れ合える機会を提供していく。</p>



写真提供 香川オーリーブガイナース球団



©KAMATAMARE SANUKI



©KAGAWA FIVE ARROWS

取組事業の様子



# ビジョン掲載事業について（3）

工芸

伝統・芸術・デザインのかで新しい未来を拓く

## 高松盆栽の郷推進事業

### 平成30年度における成果

高松盆栽の公式HPの運営費を支援することで、盆栽の文化や魅力を伝えるための情報発信・PR活動に寄与したほか、高松盆栽のモニターツアーを開催するなど基本構想に基づき事業を実施した。

### 令和元年度事業内容

「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、①国内需要の拡大、②輸出の拡大、③産地基盤の強化、④高松盆栽の郷づくりを推進するために各種事業を実施する。2019年度については、「高松盆栽の郷」の核となる拠点施設及び研修施設の整備を支援する。



高松盆栽ロゴマーク



盆栽の写真

食

## 豊富な食文化と異文化との融合

### たかまつ市場フェスタ事業

実施実績 【来場者数】		上昇率	平成30年度における成果	令和元年度事業内容
平成25年度	17,000人	105.3%	卸売市場ならではのステージイベント（模擬せり等）や、体験・参加型イベント（魚のつかみ取り）を企画し、市民参加の場を増やすことで、目標来場者数の19,500人を超える20,000人の集客があった。	来場者アンケートでは高評価を得ており、また、来場者数も伸びているため、現状を維持しながら、更なるPRに努めて来場者数を増やしていきたい。
平成26年度	17,500人			
平成27年度	18,000人			
平成28年度	18,500人			
平成29年度	19,000人			
平成30年度	20,000人			



たかまつ市場フェスタの様子

# ビジョン掲載事業について（５）

## 地域のコトを通して世界的な交流へ

### 日本パラ陸上競技選手権大会

実施実績 【参加選手数／ 観客数】	上昇率	平成30年度における成果
平成30年度 307エントリー ／約5,670人	—	<p>四国初開催となる当大会を成功裏に終わることができ、来場者も2日間で過去最多の5,670名となった。子ども記者、子どもボランティアのほか、2階ペDESTリアンデッキにて、民間企業と連携した障がい者スポーツの体験コーナーや障がい福祉サービス事業所による飲食ブースの出店、また芸術士と園児で制作した選手応援幕やアートリンク作品の展示などにより、大会を多方面から盛り上げていただくとともに、障がい者スポーツへの理解や共生社会の実現、心のバリアフリーの機運醸成に努めた。</p>



大会の様子



子ども記者の様子